



Special #1 [特集 1]

立命館スポーツ 躍進の軌跡
— 校友指導者奮闘記

Special #2 [特集 2]

世界に飛躍する立命館へ
— 国際化の現段階

輝くひと
brilliance 48

美味しさに思いやりを添え、
100組のお客様に、
100通りのサービスを。

伊澤 一夫さん ('85経営)
RISTORANTE SABATINI 支配人

表紙の人



伊澤 一夫 さん (85経営)

K a z u o I z a w a

梅田阪急三番街地下、洒落た店構えのイタリア料理店“リストランテ・サバティエーニ”。フィレンツェの本店は超高級店として知られる。伊澤さんのきびきびとした接客姿が、エッチングの施された美しい磨りガラスを通していつも見え隠れしている。この顔に見覚えのある校友諸氏も多いのではなかろうか。

伊澤さんはとにかく料理が好きである。食べること、作ること、食べてもらうことの全てが。えもいわれぬ料理の魅力にとりつかれて三十数年が経った。

大阪の商家で生まれ育った。両親はいつも忙しく、ゆっくり食事の支度をするゆとりはなかった。小学校低学年の頃、家の書棚にあった『料理辞典』を何気なく開いた。見たこともない料理や食材に驚き憧れて、ひたすら辞典を眺める日々が続く。そしてついに、「自分で作ってみよう」と決心、昔気質の両親に「男は台所へ入るな」と叱られながらも伊澤少年の一人修業は続いた。「料理人になりたい」と夢が膨らんだ。

学生時代、本格的なフランス料理店の厨房でアルバイトをし、卒業後も同じ店で働きながら調理師学校で洋食を学ぶ。今の“サバティエーニ”に移ってしばらくすると、イタリア人の副支配人がささやいた。「君はいずれこの店のマネージャーになる。ホールでサービスもしてみなさい」。

昼はコックとして働き、夜は接客。サービスに軸足を移して10年、本当に支配人になった。大学で学んだ経営学を役立て、店の経営に関する一切を取り仕切る。「食べて下さる方の顔が見えるようになって、料理を作るのもサービスするのも心は同じだと思うようになりました。どんなお客様が何のために食事に來られたのか瞬時に判断して、ふさわしいサービスを提供するよう努めます」。

客の反応を見、世の流れを察知して店の雰囲気やメニューをコーディネートしていく作業はきわめて創造的だという。「その結果としてのお客様の笑顔が私の喜びです。究極の理想は、「家族のことを思って作るお母さんの料理。本分は思いやりにあります」。そこにプロの技量とセンスを加え洗練された料理を、第一級のサービスで。料理と二人三脚の人生は、太く長く、果てなく続く。

(10月16日 SABATINIにて。写真・小幡 豊)

C

O N T E N T S

Special #1
特集1

1 輝くひと 伊澤一夫さん

3 立命館スポーツ 躍進の軌跡

—校友指導者奮闘記

アメリカンフットボール部・女子陸上競技部
ホッケー部男子

8 RITSUMEI INTERVIEW

これからの地域福祉実践を展望する
川村匡由さん

10 キーワードから見る現代

マニフェスト
福岡行政客員教授

12 立命館あの頃

1975年～1985年頃（昭和50年代）その1

14 おじゃまします

りつめい読者の会の巻
首都圏校友有志による APU進路就職支援・新校友活動経験交流会の巻

16 この一点

「森の仲間たち」立命館慶祥高等学校生徒作品

17 2003年度立命館大学校友大会報告

18 校友会ネットワーク

20 立命館ファミリーカードコーナー

Special #2
特集2

22 世界に飛躍する立命館へ

—国際化の現段階

25 キャンパストピックス

26 学生のスポーツ&イベント

28 INFORMATION



8



17



22

(写真提供：京都新聞社)



校友指導者奮闘記

立命館スポーツ 躍進の軌跡

立命館スポーツが、強い。

2003年は、規模の違いこそあれ、それぞれのクラブが地道に培った力を発揮し、見事に花開かせた年だった。

選手の力を十二分に発揮させるために心血を注いでいる、監督・コーチたち。

彼らの熱い姿もまた、観戦・応援する我々校友の心に感動を与えるのだ。

3つのクラブの指導者を紹介する。

そして、どこのクラブにもきっと同様のドラマがある。

きつと強くなれる

一九六八年春、大学紛争の煽りを受け部員不足にあえいでいたアメリカンフットボール部は、同様の事情を抱えた京都大学と、しばしば合同練習を行っていた当時三回生だった平井英嗣選手（70法・現総監督）は、交誼を得た京大の水野彌一コーチ（現監督）が、常勝関西学院を打ち破るための方策を熱く語る姿に大いに感化された。立命館は一五、六名。前途多難と思われたが、平井の胸の中には夢と憧れ、競争心が湧きあがっていた。「自分にも、強いチームづくりがきつとできる」。

七〇年、平井は卒業と同時にウィークエンドコーチになった。「厳しい練習こそが勝利を生む」と、ここぞとばかりに

スパルタ式にしていた。しかし、無念の二部リーグ落ち。練習方法の試行錯誤のみならず、退部を口にする部員の説得、活動費の捻出等々、頭の痛い問題が山ほどあった。それでも、部員、OB一丸となって苦節に耐えた七〇年代に、二〇年後に炸裂する爆発的なパワーの核の一部が作られていたことは確かであろう。

さらば、根性二辺倒

八三年以降、一部リーグに定着、部員数も増え、一〇〇名を超えた。

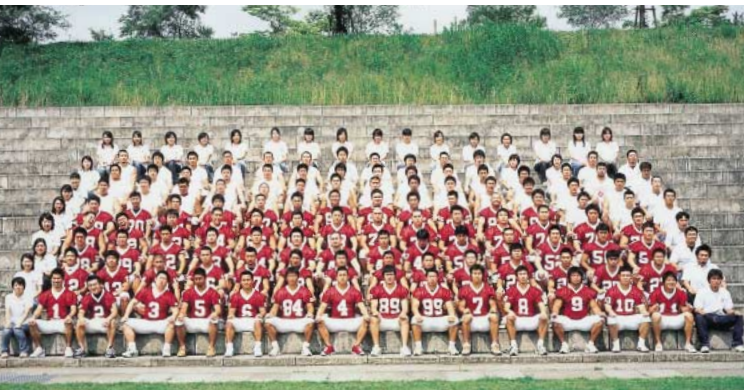
八五年、古橋由一郎（89文・現ヘッドコーチ）がクラブの門を叩いた。その年は、関学・京大に敗れはしたものの五勝を上げ、同率二位という過去最高の成績。翌年は優勝に手が届くかと期待された

が、あえなく敗退。一歩及ばず一進一退するシーズンが続く。立命館の職員となりコーチ陣に加わり、平井ヘッドコーチらと苦楽をともにすることを選んだ古橋。「何が足りないのか。抜ぎん出るためには何が」。もはや、根性練習では立ち行かないのは明らかだった。本場アメリカでの研修などを契機に、科学的かつ合理的な方法が模索されたのが、八〇年代後半からのこの一〇年間であった。

発想の大転換から日本へ

一九九四年は、半世紀の歴史上最大の転機となった。平井監督はBK Cへの本拠地移転を決断。恵まれた専用グラウンドやトレーニング施設が、クラブの将来のためには不可欠だった。しかし、ほとんどの部員が衣笠での授業を終えてから駆けつけねばならない。練習は毎日同じように必要なのか、全員一緒になくてもできる方法はないかなど、発想の大転換を生み出す環境の変化であった。監督・コーチ・部員が信頼しあい、ほとんど賭けのようであった一年を乗り切り、関西リーグ初制覇。そして大学日本一という栄冠を手にしたのである。平井の面持ちは、自ら回想する「独りよがりの指導を押しつけていた」時代とは変わり、古橋もこの時、指導者としての自覚と責任感を確固たるものとした。

関学・京大との死闘を重ね、無惨に破れば自分への憤懣に悶えながらの八年が過ぎ、昨二〇〇二年のシーズンにはとうとう悲願の日本一になった。平井総監督、古橋ヘッドコーチ。二人三脚の二人



2003年のメンバー



女子マネージャーたち



小学生とフラッグフットボールを楽しむ

支えた半世紀 PANTHERS

アメリカンフットボール部

特集1

立命館スポーツ 躍進の軌跡 【校友指導者奮闘記】

闘将は組織の統率者

アメリカンフットボールで勝つためには、有機的な組織の総合力が要求される。現在、指導陣のほか、プレーヤーは九つのポジションに約一〇〇名、マネージャー、戦略分析、トレーナーなどのスタッフが三〇名、主将、副主将、各バトリードがまとめ役、意思疎通の中心となる。ほかにOB会、後援会などが関わり、小さな会社をしのぐほどの組織ができあがっている。それぞれが確実に力を発揮すれば、チームは強くなる。大事に育てあげてきたこれらが有効に機能するようになったのを見届け

て、二〇〇二年、平井は実質的な指揮を古橋にバトンタッチした。古橋は言う。「トレーニングの内容から食事の採り方に至るまで、選手の頑張りを支えるのは我々コーチです。選手たちが「この人についていけば優勝できる」と思えるようなコーチでいなければならぬ。選手が求めている、きちんとした技術的・作戦的な理論、それも最先端のものを示し、確実に伝えるための努力をしています。コーチの重圧は計り知れない。「自分のサインが勝敗を決める。負ければ、四回生を悔いの残る形で送り出さねばならない。敗戦の悔しさのあまり、自らは「システムティック」という本分を忘れ、連日睡眠時間二、三時間で、相手のプレーを止めることに躍起になった時期

は、次なる山を登り始めた。

(写真提供：アメリカンフットボール部)



平井総監督(中央)



ヘッドコーチ(左)と選手



2003.1.3 ライスボウル



古橋ヘッドコーチ

悔しさが夢を American Football

もあった。「しかし、大局を見なければ個々の課題は解決できませんからね。組織論やリーダーシップについても勉強し、若いコーチにも責任を譲渡して、みんなで戦う、その先頭に私が立つ形に変わりました。

部員たちはとても生き生きとして明るい。授業をおろそかにせず、地元草津の人々の中にも溶け込んでいる。「フットボールを通じて人間として大きく成長してほしい」。コーチたちの思いと、ファンの声援を受け、連続日本一を目指して選手たちは進む。(文中敬称略)

五〇年の歩み

- 1953 創部(関西リーグ五番目)
- 70 平井英嗣氏卒業、コーチに。
- 71 柊野へ移転、二部リーグ時代(79年までおよび82年)。
- 82 原谷へ移転。
- 83 一部リーグへ復帰。
- 85 夜間照明施設設置、リーグ戦初の二位(京大と同率)。
- 86 平井ヘッドコーチら、ビッグバグ大に短期留学。以後、アメリカ各大学で武者修行。イヤーブック創刊。
- 87 愛称「パンサーズ」となる。
- 89 古橋由一郎氏卒業、コーチに。一部復帰後初めて京大に勝利。
- 90 創部以来初めて関学に勝利。チームマック足型に。
- 93 平井氏監督就任。
- 94 BKCへ移転、関西リーグ全勝初優勝。甲子園ボウルで法大を破り学生日本一。
- 98 リーグ全勝優勝。学生日本一。
- 2002 古橋氏ヘッドコーチ就任。平井氏は総監督に。
- リーグ戦全勝優勝、大学日本一。ライスボウルでもシガラスを破り日本一。
- 03 リーグ戦全勝優勝。

特集1

立命館スポーツ 躍進の軌跡 [校友指導者奮闘記]



全日本大学駅伝初優勝を喜ぶ選手たち (写真提供: 京都新聞社)

やれることから ベストを尽くせ

全日本大学女子駅伝 初優勝

ゴールテープを切ったアンカー小中由紀子さん(経営1)の目には涙が光っていた。駆け寄って抱き合い、ともに涙する十倉みゆきコーチ(96産社)。チームメンバーの歓喜の輪が大きく広がる。一月二三日、第二回全日本大学女子駅伝対校選手権で念願の優勝を果たした瞬間だ。

一〇月の関西学生対校女子駅伝でも一〇年ぶりに優勝している。谷口康雄新監督(73経済)の助言を受けて長距離を走り込ませ、不安感を克服させた結果の二つの勝利。「今年は関西チャンピオンとして全日本に出ようと、本気

で勝ちに行きました。勝ち方や勝つ喜びを知らせるための努力、それについてきてくれた彼女たちの努力が、血となり肉となった一年でした。十倉コーチの脳裏に様々な思い出が去来した。

「練習に出いっせやろー」

陸上競技部から女子部が独立したのは一九九一年。スポーツ選抜入試などにより部員数が増え、好成績を狙える条件が揃い始めた頃だった。全日本大学女子駅伝の成績を振り返ると、十倉さんも出場していた九二、九三年が、九位、六位という一桁順位でいわば黎明期。その後八年以降は、ダイハツ陸上競技部で活躍した十倉さんの学内コーチ就任、練習拠点のBKCへの移転、加納由理さん(01経済・資生堂)・大山美樹さん(02経済・三井住友海上)ら有力選手の成長といった好条件が重なり、五位以上の結果を残し、今年の優勝につながる躍進期となった。

しかし、十倉さんが母校に戻った六年前の実態は、トップを目指すチームとは思えないものだった。「初めは部員と衝突ばかりでした。楽しく自由にやりたいという気持ちもあったのでしょ。長い合宿や朝練習に反発する部員もいました。「どうして出て来ないの!」と、学生マンションへ迎えに行ったこともありま。まずは無理にでも練習させよう。その結果がついてきて初めて、みんなは私の指導に納得してくれる。そう信じて接しました。

トロフィーを手に優勝報告



十倉コーチ(右)



そんな中、衣笠キャンパスから六キロ離れ、水はけも悪かった終野グラウンド時代の苦労を知る加納選手らが、BKC移転後の恵まれた環境を自覚した上で真摯に練習に取り組むようになった。一人、また一人と意欲的な部員が増えていった。「やらなければならない。やればできる」という基本中の基本、自覚と節制とを全員の共通認識にするまでには、三年ほどの時間が必要だった。今では各部員の実力伯仲。皆が良きライバル同士である。

学生スポーツの本分は

BKCの環境が良いと言っても、他の上位校のセミプロ級の環境や選手待遇は、立命館をはるかにしのぐ。それでもいい、この状況下で勝つことに大きな意味があると十倉さんは言う。「限られた環境の中で工夫することが、学生の力、たくましさにつながります。私たちは学生スポーツの本分を見失わないように走り続けていきたい。次のレースでも、沿道の声援の中で十倉さんの声が一際大きく響くことだろう。

特集1

立命館スポーツ 躍進の軌跡 [校友指導者奮闘記]

一九五三年創部。草創期の苦難を乗り越えた後の七〇、八〇年代には、全日本チームに代表を送るようになっていた。しかし、厚い厚い壁、天理大学に、常に立ちはだかれていた。八六年コーチに就任、現在は監督の山口修一郎さん（79法）は振り返る。「天理の黒いユニフォームを見ると萎縮してしまう状態が続いていました。しかし私は、

万年二位から脱せよ！

いている。この原点には、かつて二十六年間無敗を誇った天理大学を倒そうと奮闘したOBたちの、熱くたぎる思いがある。

それは、「打倒天理！」から始まった

手作りの強豪チーム

いわゆる専業コーチを持たずに、学生の自律的努力と、本業の合間を縫ってのボランティアOBの指導によって、日本を代表するチームの一つにまで昇りつめたのがホッケー部である。

男子部は今年、関西学生春季リーグ、全日本大学王座決定戦、西日本学生選手権と、既に三冠に輝



2003年6月、第22回全日本大学王座決定戦で優勝。前列中央、トロフィーを持つ山口監督。その向かって左、松村主将。

切。今年はいよいよ「自主性が大（産社4）は、松村昌倫主将（産社4）は、

国体や全国社会人大会で日本一を経験し、優勝の喜びを後輩たちにも味わわせてやりたいと思いました。何としても天理の連勝を止めようと、当時の長谷川正直監督（79経済）と私は決心したのです。」

普通にやっていたのでは勝てない。指導陣は練習の効率を見直し、つてを頼りに韓国、マレーシア、オーストラリアなどで遠征先を開拓、新しいノウハウを導入するなど知恵を絞った。本気で勝とうという意識改革。すさまじい執念、指導陣の打倒天理の一念は言葉に行動に滲み出て、後に続く代々の学生たちに受け継がれていった。「今年こそは」と臨んで負けた時の落胆ぶりと言ったら。食事する気にもなれませんでした。それくらい必死でした。」

そして、ついにその時はやってきた。九二年一〇月一一日、関西学生秋季リーグで天理大を破り、初優勝を飾ったのである。この時獲得した自信が、立命館ホッケーに本

団結するオール立命館ホッケー

冠ですが、また連覇がないので、一つの優勝に満足せずに次も狙うことが課題です」と語る。OB指導陣はそれを支えながら、今日も舞台裏で一方ならぬ努力をしているのである。

OBG会の固い結束と、物心両面にわたる支援も、立命館ホッケーの強さの源だ。九八年春、立命館中・高・大学のホッケー部とそのOBG会、一般有志の連合体である「立命館ホッケークラブ」が、念願の人工芝練習場を寄付。手ずから敷設を手伝った。ミニサイズではあったが、大きな力となり、翌九九年には大学による本格的な人工芝ホッケー場設置が実現した。

男子部に続けと女子部もめきめき力をつけている。女子部の山田雅哉監督（79経営）は言う。「校野の美しい人工芝で、大・中・高男子も女子も、刺激あい助け合っていますよ。何と言っても、みんなホッケーが大好きなんだから。」



王座戦決勝戦先制ゴールの瞬間（vs天理大）（写真提供：立命館ホッケークラブ）



1992年、天理大の連勝を止めた瞬間



98年2月、ミニ人工芝敷設。OBの協力

川村 匡由 さん

■ 武蔵野大学大学院人間社会・文化研究科教授「69文」

司法記者から福祉研究実践者へ

新聞記者から福祉の世界へ研究者として転身なさったそうですが、問題意識や契機をお聞かせください。

私はかつて司法記者をしていて、司法試験を視野に入れて勉強した時期もありました。当時の司法試験の教養選択科目のひとつに「社会政策」があったのですが、これが社会保障問題に目覚めた原点だろうと思います。そのうちに、最後の問題を扱うページを担当することになり、新聞紙上で三年間、毎週、年金相談を行いました。ちょうど現行の二階建て年金制度がスタートした頃で、私の仕事と世間の関心が一致したんですね。『新・年金パスポート』という本を書いたり、講演依頼が来たりという具合で、だんだんのめりこんでいき、社会保障と老人福祉の研究者になりたいと真剣に考えるようになりしました。取材で知り合った先生に教えを請い、学会で毎年、発表を続け、四二歳で思い切った記者を辞めました。既に大学で講師をし、趣味の山歩きの関係の著書も含めて年に四、五冊の本を出していましたから、なんとかやって行けるだろうと。

公私協働の地域福祉を

日本の福祉の現状をどのようにご覧になっていますか。そして、一番関心をお持ちなのはどんなことですか。

少子高齢化がどんどん進む中、社会保

障・社会福祉の仕組みを発展させていくことは急務ですが、長引く不景気で財源が乏しく、福祉政策は経済動向に振り回されがちです。しかし、いつの時代であっても、国民の基本的人権と生命・財産を守ることに関しては、きちんと国や地方自治体が責任を持たなければならぬですね。国民ももっと積極的に参画しなければなりません。そのためには住民参加に基づく公私協働による地域福祉コミュニティを作ることが大切です。関係各層が役割分担しつつ、うまく連携して福祉実践をするためにはどうしたらよいのか。これが目下、最大の関心事です。

行政のサービスを民間が補っていくことが大切なのでしょうか。

これからの福祉にとって大事なものは、行政だけでなく、民間がもつサービスも資源として出し合って、利用者が望むサービスの選択肢を増やすことだと思います。地域間格差のあるのが問題ですが、少なくとも都市部では、社会福祉協議会や消費生活協同組合、NPO、その他ボランティア団体、そして、企業といった担い手が考えられますし、農村部では農業協同組合が頑張っています。これら諸団体と住民とが歩み寄ることで、サービス内容をニーズとうまくマッチングさせることができます。提供する側の視点だ

けでサービスメニューを揃えても、本当に良いものにはならないのです。実際、行政のサービスを待っているだけでは回っていかないんですよ。問題意識の高い、元介護施設の職員さんや看護師さんが自分たちでお金と場所を出し合って、宅老所やグループホームを立ち上げるという例がそれを示しています。私も昨年静岡県の実家を利用した宅老所を開き、現在暮らしている武蔵野の地でも新しい試みを準備しています。

これからの地域福祉実践を展望する

1946年静岡県生まれ。69年立命館大学文学部卒業後、読売新聞記者となる。社会保障・社会福祉の研究者に転じ、日本福祉大学講師、つくば国際大学教授を経て、98年旧武蔵野女子大学現代社会学部教授。2001年より現職。99年、早稲田大学大学院人間科学研究科にて人間科学博士号取得。地方自治体・社会福祉協議会関係の委員長等多数歴任。日本山岳会会員。個人ホームページ：http://www.geocities.jp/kawamura0515/



かわむら まさよしさん

「山をやっているから、10歳若いよ」。大変多忙であるにもかかわらず、「人の10倍も20倍も楽しんでいる」と笑う川村さんには脱帽してしまう。

結婚後、夫人に誘われて始めた登山。魅力は頂上踏破だけにあるのではない。自然はもちろん、周辺の歴史や民俗などにも興味が及ぶ。全国に点在する「○○富士」には、人々の暮らしや信仰と深く結びついた山が多いことに着眼、忘れかけられた山の掘り起こしも狙って夫妻で8



立山山頂にて

年かけて130近い富士に登った。『ふるさと富士百名山』(山と溪谷社)にその成果がまとめられている。

新聞記者時代に培った情報収集・処理の力、そして、コーディネートの才を生かして、豊かな時を生きる川村さん。その片鱗は学生時代に既に表れていたようだ。苦学生ではなかったが、お金があったほうがより楽しかろうと、修学旅行生専門の旅館に住み込み、アルバイトをした。家賃と食費が浮く。二回生以降の学費・生活費を自分で賄ってもなお大衆車を買えるほど残った。そして時々大旅行も。単位は、要卒ギリギリのラインに照準を合わせ、4年間できっちり揃えた。一科目も落とせないというプレッシャーに耐えながら、その緊張感を楽しむ合理的な学生生活。もっとも、今もなお、卒業できない夢を見ることがあるそうである。

市民の力を引き出す実践あれこれ

「武蔵境福祉研究会」を設立されたそうですね。先生はフィールドワーク重視の実践派研究者として知られていらっしゃるんですね。

福祉の理論は、実践して初めてその検証ができ、再構築もできるのです。社会福祉学は実学です。ですから、いろんな地域からお声がかかれば、力を注ぎたいのです。とりわけ、自分が住んでいる地域では、自分自身の問題でもありますから。「武蔵境福祉研究会」は、地元での実践母体として立ち上げました。社会福祉協議会や企業の方、違う形で福祉活動を実践しておいでの方、福祉サービスの利用者の皆さんなど、いろんな人が集まっています。今はまだ月一回程度のオープンゼミを開いている段階です。今後、会員の皆さんに、労力提供、情報発信、利用者探し、PR誌編集など、得意分野で役割を担っていただき、事務局を編成します。既に武蔵境駅近くの商業地に土地を確保しています。研究会の事務所兼デイサービスセンター兼地域のコミュニケーションセンターのようなものを建てたいと計画しています。福祉関係の調

査の依頼を受けたり、各種介護サービスを提供できるようにしたいと、夢は膨らんでいます。時には遊びも取り入れて、親睦会を兼ねた山歩きをしようと云っているのですよ。

「趣味の登山と、福祉の実践とを関連づけていこうとするのですか。」

みんなで山歩きを楽しむ中で人々が横のつながりを作り、組織化し、ゆくゆくはボランティア活動などの運営母体まで育ててくれればという思いがあるんですよ。七年ほど前のことですが、近くの東久留米市の社会福祉協議会から「市民福祉講座」を月一回担当するように頼まれたんです。でも、ただ普通の講座にしたのでは、参加者は話を聞いただけ聞いて終わればそれまでになってしまう。そこで「人生一〇〇倍セミナー」と銘打って、定年後の話、年金の話、ボランティアの話などをするとともに、時々山にも行きましようということになりました。この講座は二年続いて、参加者が仲良くなりましたので、自主運営のサークルをつくったかどうかと勧めました。そのサークルでは、福祉の学習会や登山のほか、会員それぞれが自分の得意な趣

味の事例を教えあうこと、それから田んぼの一面を借り、米を作りながら、知的障害のある子供とその親御さんを招いて一緒に農作業をするボランティア活動などを今も続けています。こういう人たちが、地域のリーダーになり、助け合いのシステムを支える存在になってくれるわけです。

行政をはじめ、既存の福祉関係諸団体に對しても一石を投じる試みですね。

市民が参画できる場面を作り出すことは、工夫次第でいろいろできるはずなんです。私は、西東京市から地域福祉計画策定に伴うバリアフリーの達成度を表示したマップの作成を依頼されています。これは通常、コンサルタント会社等に外注されるケースが多いのですが、私は市民から参加者を募り、小学校区単位でみんな町へ出て、車椅子に乗ったり、アイマスクをつけたりして、どんなに不便か、実体験をしてみようと考えています。市長さんも、議員も、職員にも参加していただきたいですね。児童生徒も加われば、各家庭においても話題になるでしょう。市が本気で取り組もうとしていることが市民に伝わり、関心が集まりますよ。

「ついで」の効用

なるほど。いろいろな要素をうまく結びつけた、効果的な実践ですね。

コーディネーターですよ。私は「何かのついでに別の何かをする」のをモットーにしています。福祉仲間との登山が、山の本を書くための取材を兼ねたりしていますね(笑)。人生、結局は時間の使い方次第で決まるんじゃないですか。

(聞き手 安達正哉広報委員)

マニフェスト

福岡政行 立命館大学客員教授

Q 先の衆議院選挙ではマニフェストが話題になりましたが、選挙にどのような影響があったのでしょうか？

A 今回の衆議院選挙では、マニフェストは大きなインパクトになりました。自民党は「政権公約」という表現を使い、民主党は以前からマニフェストの提唱をしてきていました。ただ、国民になじみが薄く、特に高齢層には浸透しにくかったと思います。「国民への約束」という表現にして、サブタイトルにマニフェストと入れる方が理解を得やすかったのではないのでしょうか。

各新聞の世論調査と、立命館大学福岡ゼミ生が全国一五選挙区で街頭世論調査を行った結果によると、「マニフェストを読みましたか？」という質問に対しては六〇%を超える人が「読んで投票の基準にした」と答えています。しかし、しっかり読んで投票を判断した人は、実際には少ないのではないかと考えています。なぜならば、自民党の選挙公約は、数値目標という点では、あいまいで抽象的な表現が多くなっていました。民主党の方は、数字なども具体的にチャレンジしている姿勢はよくわかりましたが、高速道路無料化の政策など、財源や具体性の点で実現可能性を問われる部分もありました。表現の工夫にしても、説得力を強めるためにグラフを使うなどのアイキャッチが必要だったと思います。英国のような、国民が歴史的に政治議論好きで「影の内閣」をもつ国と比べると、日本では

マニフェスト自体がなじみにくかったと思います。

今回の衆議院選挙で、マニフェストは大きな話題となり、一定の影響を与えました。しかし、発信する側の意向は強かったけれども、有権者の行動にはあまり影響しなかった、というところではないでしょうか。

Q 学生や二〇歳の若者にとって、マニフェストは効果があつたのでしょうか？

A 一部にインターネット等を利用して新しい取り組みをした学生もいて、マスコミも取り上げてはいましたが、ひろがりをもつまでには至っていません。全体の投票率は六〇%に届かず、二〇歳代の投票率は依然として三〇%です。話題性はありましたが、いろいろな人たちが動きましたが、政党から出てきたマニフェストが新鮮さに欠けていたことにプレゼンテーションの不充分さも加わって、まだまだ日本の政治風土に定着するには時間がかかると思います。でもマニフェストを浸透させなければ、日本の政治の成熟度は上がっていきかないのです。

Q これからの日本のために、マニフェストはいかに活用されるべきでしょうか？

A 衆議院選挙の結果、自民党・公明党の連立政権が継続することになったわけですから、

マニフェスト

2003年春の統一地方選挙以降、マスコミ報道を通じて、
にわかに関心の高まった感のある「マニフェスト」。

地方発のこの流れは中央政界にも波及し、

11月の衆議院選挙では与野党を問わずマニフェストを発表した。

かつて松下政経塾で政治家養成に尽力し、多くの教え子を国会議員や全国の首長として送り出している
福岡政行立命館大学客員教授に、「衆議院選挙とマニフェスト」についてお話をうかがった。

自民党が政権公約として発表したことは、
今後の予算編成や立法運動に活かされて
いかなければならないのですが、細かく
見てみると、「一年後を目処に」とか「関
係各方面の意見を聞いて最終判断をする」
という表現になっています。これは、こ
れまで「霞ヶ関（＝官庁）」と「族議員」
がつくってきたスタイルです。これから
の時代は、あいまいな玉虫色の表現を許
さない、マニフェストや政権公約にもと
づいた政治が望まれています。そのため
には、財源、期限、数値目標、プロセス
の四条件を基底にして進める必要があり
ます。ところが、大統領制ならある程度
可能でも、議院内閣制のもとでは公約実
行は簡単ではない、という言われ方もし
ています。神奈川県松沢知事が三九項
目の公約を具体的にに出していますが、彼
はいみじくも「議会との関係がありなが
らも六〇％は実行したい」と言っていま
す。それだけ一〇〇％実行することは難
しいのです。しかし、自分の言ったこと
に責任をもつというのは政治家として大

MANIFESTO



事なことです。

今後、マニフェストや政権公約といっ
たものを定着させることにより、政策論
争によって日本の政治をつくっていくか
なければならないと思います。もうしば
らく時間がかかるかもしれませんが。

知事や市長の中には、約束が守れない
などの理由で、二期八年ぐらいで辞めて
いく人もいます。これは日本でも民主主
義の成熟度が高まりつつあることの表れ
とも言えます。特に無党派層は、マニフ
ェストを参考にして投票していたのでは
ないでしょうか。

立命館大学の卒業生には、国政や地方政
治の世界で、若くても地道な努力を重ねて
活躍している人がたくさんいます。「日本
は新陳代謝が悪い」と諸外国から言われ
ることがありますが、若い人たちが政治に加
わって、きれいいごでない具体的な改革を
進めていくって欲しいと思っています。立命
館大学は、改革を進めて社会的に評価され
ていますが、その卒業生が日本の改革に貢
献していくことは、今の日本で強く求めら
れていることだと思います。



profile ふくおか まさゆき

1973年 早稲田大学大学院政治学専攻科博士課程
修了。明治学院大学、駒澤大学で教鞭をとった後、
92年白鴎大学法学部教授。2002年より立命館大
学客員教授。専門は政治学。

■主な著書・研究論文

- 『自治体再生へ舵をとれ』（共著、2002年、学陽書房）
- 『日本の選挙』（2001年、早稲田大学出版部）
- 『十年後のニッポン』（2001年、講談社）

頃あ館命立

学生生活を追って

1975年～1985年頃（昭和50年代） その1



広島大学教育学部開校祭典

この年二月に、全学実行委員会の企画による「広島大学教育学部開校祭典」が行

点化事業が成った。

立命館大学は、学園機能の統一と教学条件の改善に向けて、衣笠キャンパス一拠点化を推し進めていた。七〇年代後半には衣笠に新しい校舎、学生用施設が次々と建設された。七八年の一部文学部・二部全学部移転に続き、八一年には最後まで残っていた法学部が広島小路を後にし、一七十年をかけた一拠点化事業が成った。

この時期の前半に日本の人口の半数以上が戦後生まれとなり、大学生の数は三百万人に達していた。日本は国際化の機運を増し、キャリアウーマンという言葉の登場にみられるように女性の社会進出もすすみ、従来の社会の枠組みが見直され再構築され始めた時代であった。

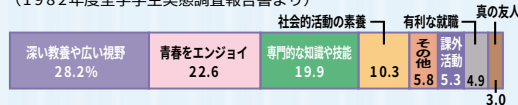
社会情勢・学園と学生の動向

国民の九割が中流意識をもつに至ったこの時期。日本の高度成長の恩恵とほころび、この両方の影響を受けて育った世代が、当時学生生活を送っていた。立命館大学においては、衣笠一拠点化という大事業が進み、八一年に完成をみた。学生たちは建設工事の槌音の中で学びながら、明暗あわせもつ時代の空気のもとでいかに生きるかを模索していた。

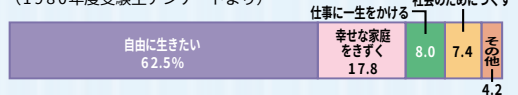
われ、学生、教職員、校友、周辺在住の市民ら一万人が思い出のキャンパスに名残を惜しんだ。その夜行われた三千個の提灯を連ねての「記念パレード」を記憶に留めている向きも多からう。五月には、衣笠キャンパスの体育館において、創立八〇周年および大学の衣笠移転完了を祝う式典が盛大に行われた。

この一拠点化は、学生生活にも大いに変化をもたらすものであった。約二万一千名にのぼっていた学生たちは、教学条件の保障・向上の方策について議論を重ねた。学費値上げに抗する動きもあったが、一時代前の、いわゆる「大学紛争」の反省を経て、学生たちは学ぶ要求を軸にした自治活動を展開するようになっていた。

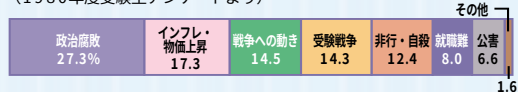
大学生生活に求めるものは？（2・3回生）
（1982年度全学学生実態調査報告書より）



80年代にどんな生き方がしたいですか？
（1980年度受験生アンケートより）



今の社会で矛盾を感じることは？
（1980年度受験生アンケートより）



大学も、学生たちも、一拠点化の達成を心地よく感じながら、衣笠の地であらためて自分たちの姿を見直そうとしていた。紛争後低迷していた各サークル活動も、七〇年代後半には参加人数が持ち直し、組織の体を取り戻した。大学が小集団教育の環境整備に力を入れたこともあり、自主ゼミや、学術系学部系サークルが育ってきた時期でもあった。スポーツ系も、力を伸ばすべく模索を続けていた。

一拠点化完成の頃の衣笠キャンパス



年譜

1985	1982	1981	1979	1977	1976	1975
谷岡武雄総長就任	末川記念会館竣工	原谷グラウンド竣工	創立八〇周年・大学衣笠移転完成記念式典挙行	法学部衣笠へ移転	広島小路学舎閉校祭典開催	衣笠に中川会館竣工
			衣笠に衣笠へ移転	天野和夫総長就任	法人所在地衣笠に変更	衣笠に衣笠へ移転
			学生会館（第二期）竣工	衣笠へ移転	一部文学部・二部全学部衣笠へ移転	末川名譽総長死去
						衣笠・中央図書館
						宇多野セミナーハウス開設
						わたつみ像再建立

立命館を良くしたい、 良く学びたい

●七〇年代中葉は、ロッキード事件などの政治の大問題があつて、街中では二週間に一度くらいはデモ行進に出くわしたね。

●七〇年代の立命館大学の中には、大学紛争の余波がまだ少し残っていたと思う。授業にヘルメットをかぶった学生が入ってきたことがあつた。僕は二部に通っていたのだけれど、夜に頑張つて学ぶ者同士で楽しくやろうという雰囲気は破られるような緊張感が漂う場面もあった。

●授業料の、いわゆる「ダブルスライド制」導入反対、というのもあつた。学友会が取り組んでいたよね。

●二部は広小路時代には、夕方五時半から九時四〇分まで、三校時あつた。「衣笠に行くとなると、毎日遅刻じゃないか。大学は僕らの勉強条件をどう保障してくれるんだ」とよく議論した。衣笠に移ってから、六時開始の二校時になった。

●その頃、市バスの二〇五系統の本数を



1979年体育会卒業記念アルバムより。航空部。

減らすという話が出て、学生と教員の代表が陳情に行ったことがあつた。ますます不便になったら困る。

●苦労して自分で学費を出して、それでも勉強したいという気持ちが強かった。仲間同士で触発もされて、昼間（一部）の人が遊んでいる間に勉強しようと思つたけれど、自分で勉強時間を確保するのはなかなか大変。授業そのものの時間を大切にしたい。

●紛争の余波を、二部の学生が率先して取り除こうとしていたんじゃないか。勉強しようとしているのに、それを妨げられるのは許せないって。

●昼間の人は学生生活を謳歌しているように見えたね。

●謳歌？とまでは。僕は昼だけれど、さっきの話に出ていたような紛争余波は同じように感じていたし。でもクラブ中心の生活をしていたような人は、楽しそうだったね。

●広小路の、高校より狭いキャンパスには驚いた。だから移転は然るべき流れだと思つた。大学が発展していくためには。

●学友会の代表者などが演説しているのを聞くと、授業で先生の話を聞いているよりも説得力を感じた。とても立派な論を並べた結果、全学協議会で学生が勝ち取るのは、ウォータークーラーの増設とか、トイレレットペーパーの常備とか、そんなことなだけだ（笑）。

●それでも、学生みんなが、これから立命館大学をどうしていこうかと考えていたんじゃないかな。大きく発展させるのか、規模を守つてそのぶん教学環境を良くするのかといったことを。

●いろんなことを見直そうとしていた時代だったと思う。一拠点を達成して、ほつとして、「僕の立命、私の立命」という感覚がみんなに通じる時代だった。

学生文化あれこれ

●広小路開校の提灯行列を鮮明に憶えている。僕はクラブ単位で参加したけれど、経済学部だったので、この時が最初で最後の広小路だった。

●僕は七五年に法学部入学。最後まで広小路、入学の時のクラス記念写真を、有心館の玄関で撮つた。唯一口マンチックな建物だったなあ。鴨川で、校歌をみんなで歌つた。

●高野悦子の命日に、『二十歳の原点』をポール・モーリアを聞きながら徹夜で読破した。

●『文明の没落』という本を読み、衣笠の図書館で毎日夜九時まで読んでいた。図書館からの夜の眺めは、静寂そのものだった。

●一回生の時の学園祭で、クラスで「翼をください」「明日に架かる橋」の合唱と劇に取り組んだのを憶えている。

●喫茶店「ジャルダン」で、ジャンボオムライスを注文し、友だちと語り合った。午前二時の閉店を幾度となく経験した。話題は、人生・愛・男と女・幸福・戦争と平和・歴史・経済など、何でも。

●ほかによく通つた店は、「しあんくれーる」「六曜社」「築地」。

●僕は衣笠だったから、末川会館の南側にあつた「千影」。おばちゃんが明るく面倒見の良い人で、店の近くにある自宅まで夜更けまで学生に酒を馳走してくれて、恋愛の話などで盛り上がった。

●痛い付きの下宿よりアパートが好まれた。もう学生服姿の人はほとんどいなくて、Ｔシャツ、ジーンズに長髪だった。

●ニューミュージック全盛期。レンタルレコードをよく借りた。カラオケは、ボックスはまだ無くて、飲みながら一曲一〇〇円で歌うくらいだったよね。



りつめい

読者の会

の巻



校友会広報委員会が主催した行事なのに“おじゃま”とはおかしな話ですが、この『りつめい』にとっての記念すべき会をぜひお知らせしたいと思います。

9月27日、涼風に名庭の緑がそよぐ「ゆうりそうと京都洛翠」に、53名が集まりました。

北海道・愛知など近畿圏外からもご参加いただきました。

「会報読者の皆さんとじかに言葉を交わし、誌面への意見・感想を伺いながら、会報編集の実際や作り手の思いをお伝えしたい」。広報委員会メンバーが長らく願っていたことでした。ゲストをお迎えし、文化サロンの要素を加えて、気軽に楽しくやろうと企画したのが、「第一回りつめい読者の会」です。



▲ゲスト小川勝章さん

第一部 講演会

ゲストは本誌二二三号の表紙を飾って下さった造園植治の小川勝章さん（96歳）。庭造りのブ口の、樹木・石・水といった庭の構成要素への命の吹き込み方また鑑賞するにあたっての楽しみ方のヒントなどを「お庭で見つける喜び」と題して語られました。「洛翠」の庭園は、小川さんのご先祖、明治の大作庭師七代目小川治兵衛の手によるもので、今年、勝章さんと父の十一代目治兵衛氏により復元の手入れが行われたところ。一同、琵琶湖を模した池を中心に配した心安らぐ庭に出て、小川さんの解説を聞きながら庭の風情を堪能しました。

第二部 懇親談話会

続いて懐石料理に舌鼓をうちながらの談話会。広報委員と事務局員が、企画・取材・原稿づくりの段階までは外部業者の手を借りずに自前で作業していることや、それ故の苦労や楽しさを語ると、読者の皆さんは、こ



▲談話会。右列中央・尾崎広報委員長。その向かって右・北海道から参加の土本さんご夫妻

ユニケーションをも視野に入れてみてはといった提言で応えて下さいました。庭への興味から参加したとおっしゃる方、校友会行事出席は初めての方、若い方、どなたも自然に話の輪に溶け込み、一校友として気軽に参加できる会のありかたを大変喜んでいました。もちろん、学生時代の思い出や、近況の話題にも花が咲きました。

会報だけでつながった五三三、既存の校友会活動とは違った味があり、委員一同大いに励まされました。「第一回」ということは、二回目以降も？ 命運は皆様方のご支援にかかっています。今後ともご愛読のほどよろしく申し上げます。



▲庭園鑑賞のヒントを聞く





◀住野会長の講演



立命館校有志による
進路就職支援・新校友活動支援会

「就職活動を経て、大学名に」立命館「がついていることが持つ意味の大きさと、多くの先輩による支えを実感した」という言葉に、三回生以下も同感した様子でした。有志

◇25日 進路就職支援の会

有志メンバーは、住野公一東京校友会会長（オートバックスセブン代表取締役CEO・70経済）をはじめ、一九六〇年から九四年卒業の男女二一氏、日本を代表する企業で活躍する皆さんです。地元大分県校友会からも、中野秀勝会長（58法）が激励の輪に加わりました。

就職活動に奮闘、好結果を勝ち取ったAPU現四回生に続くように意気込んで集まった三回生以下は約一〇〇名。住野氏による講演「就職活動、われらは応援団―採る側はここを見る」に続き、既に内定を得た二人の四回生が、活動体験と、そこで生まれた立命館大学校友との交流について語りました。その後、四つの分散会に分かれて、先輩校友と学生が熱い質疑応答を繰り広げ、カフェテリアでの交流会の場においても親しく真剣なやりとりが続きました。

メンバーも、APU学生の真摯な態度に、休日返上で足を運んだ甲斐があったと満足げでした。

◇26日 校友会活動経験交流会

多くのAPU卒業生の活躍の場になると予想される東京地区で、どのような校友会活動が行われているのか。有志メンバーは、APU校友会竹本慎也会長と現役四回生八名を前に、映像を交えて、新人歓迎会やハイキング、年次大会等、年間を通じた活動の紹介をしました。新校友が豊かな人間関係を築くための契機となる校友会の意義を確かめ合いながら、実務的な内容にまで踏み込んだ意見交換が行われました。



◀分散会にて



交流会にて。国際学生の姿も。



首都圏校友有志による

APU進路就職支援・

新校友活動経験交流会

の巻

来る3月、本格的に卒業生を送り出す立命館アジア太平洋大学（APU）。2003年春に発足した校友会も実働開始です。産声を上げたばかりのAPU校友会、そして今後メンバーとなる学生たちを支えようと、首都圏在住の立命館大学校友有志がAPUに赴き、10月25・26の両日にわたって、進路選択支援や校友会活動のあり方について情報を提供しました。



▲校友会活動経験交流会にて





クレイアート 14cm×35cm×H10cm

この作品には、「自然を大切に!」というメッセージが込められています。

小さな森の中に、動物のような植物のような、不思議な生き物が生息していて、それぞれが違うところや様々な思いを持ちつつ、その生と死を繰り返している。

・・・そんなイメージで製作しました。

私たちの暮らす北海道、そして地球の自然が人間の手で破壊されつつある今だからこそ、「大切にしよう」という気持ちを表現しようと、誰でも興味をもてるような楽しい森のキャラクターを作りはじめたのがこの共同製作のきっかけです。

環境問題はこの作品ですべてを表現できるほど簡単なものではないと思います。でも、ファンタジーいっぱいこの仲間たちを観た人の心には、私たちの思いが届けばいいと思っています。

オリジナルキャラクター 森の仲間たち

立命館慶祥高等学校2年生
鈴木裕佳子・吉川倫世

11月8日（土）、ホテルグランヴィア京都の
宴会場2フロアすべてを借り切って、
恒例の校友大会が行われた。
今年は着席形式に戻した上で、
校友・現役学生が様々な催しを展開、
好評のうちに豊かな交流の時が流れた。

●宴会場内では

メインの大宴会場を「学園広場」、上階の中宴会場二つを「学生会館」「学園ホール」と位置付け、それぞれの会場で時間差を設けて行われる企画を相互に中継しながら、一体感を保つた形で大会は進められた。民謡・演歌・ジャズ・和太鼓演奏などが華やかさを競い、参加者は音楽を楽しみながらゆったりと話を花を咲かせていた。

今年の「お楽しみ福引大会」は、協賛各社および各都道府県校友会からご提供いただいた賞品に、校友会会長賞、副会長賞が加わり、一段とお楽しみ度がアップ。

見事校友会会長賞（液晶テレビ）に輝いたのは、木村正男さん（69経営）だった。



“校友会会長賞”を引く河原会長



山口ひろみさん



藤岡真弓さん



会長賞の木村さん



大野実佐子さん



千葉山貴公さん

会場ホテルの2フロアで
過去最高1500人が多彩な交流



●前室・廊下部分では

懐かしい母校と学生時代を彷彿させる、昭和30年代をイメージしたレトロな町並みがつくられた。そこに「写真でたどる立命館の歩み」「立命館スポーツ感動の一枚」の展示、駄菓子の販売コーナーや茶道研究部による茶席が設けられ、協賛各社のブースも並んだ。けん玉研究会・マジックプレイヤーズの学生もパフォーマンスを見せ、一緒に楽しむ校友の姿が見られた。



●フィナーレ

お互いの活躍を喜び、励まし合う参加者たち。応援団のリードで校歌・応援歌を熱唱、再会を誓い合った。なお、当日は校友会本部幹事会（p.18参照）および経済学部同窓会主催の講演会も開催された。

校 友 会 ネット ワ ーク

本年9月中旬～12月上旬に行われた各団体の行事です（判明分）

■ 都道府県校友会

- 9/23 兵庫県校友会の集い（150名・楠公会館）
- 10/4 Ritsちば校友の集い（100名・船橋グランドホテル）
- 10/4 島根県校友会総会（33名・ホテル宍道湖）
- 10/5 広島県東部校友会総会（70名・福山ニューキャッスルホテル）



島根県校友会総会



広島県東部校友会総会

- 10/8 和歌山県校友会総会（120名・ホテルグランヴィア和歌山）
- 10/25 秋田県校友会総会（33名・ホテルメトロポリタン秋田）
- 10/25 茨城県校友会総会（30名・水戸三の丸ホテル）
- 10/30 福岡県校友会総会（260名・ホテルシーホーク）
- 11/1 石川県校友会総会（80名・金沢ニューグランドホテル）
- 11/14 鳥取県東部校友会総会（45名・白兔会館）
- 11/14 北九州校友会総会&九州連合会（100名・ステーションホテル小倉）



福岡県校友会総会

- 11/15 愛知県校友会総会（420名・名鉄グランドホテル）
- 11/15 宇部小野田地区校友会総会（32名・堀辺旅館）
- 11/16 鹿児島県校友会総会（50名・鹿児島サンロイヤルホテル）
- 11/22 山口地区校友会総会（50名・湯田温泉「翠山荘」）
- 11/23 佐賀県校友会総会（46名・はがくれ荘）
- 11/23 大分県校友会総会（80名・つるみ荘）
- 11/29 宮城県校友会総会（50名・仙台エクセルホテル東急）
- 11/29 福島県校友会総会（23名・東山温泉「千代瀧 瀧の舞」）
- 11/30 岡山県校友会総会（240名・ラヴィール岡山）
- 12/7 東京校友会総会（150名・虎ノ門パストラル）
- 12/13 栃木県校友会総会（40名・宇都宮東武ホテルグランデ）



鹿児島県校友会総会

■ 地域校友会

- 9/27 愛媛県校友会西条支部いもたき会（18名・西条加茂川河原）
- 10/3 北摂校友会総会（65名・ホテルアイボリー）
- 10/4 湘南の会（35名・ホテル好養）
- 10/11 上海校友会（立命館駐上海交通大学連絡処）
- 10/11 大野実佐子をきく広島立命の会総会（35名・中国新聞西条販売所ホール）
- 10/11,12 同会&東広島地区校友会酒蔵DE民謡コンサート（150名・賀茂泉酒造酒蔵）
- 11/15 長野県校友会南信支部総会（22名・伊那市「大上」）

二月二日、第三五回全日本大学駅伝対校選手権大会が行われ、名古屋・熱田神宮から三重・伊勢神宮までの二〇六・八kmのコースを、二五校が走り抜けた。

立命館は、優勝候補の駒大、大東文化大ほかに加勢のレース。一五回目の出場である。

ゴール前では、中山一幸南勢会長以下約三〇名の校友が、三重県校友会旗と、できあがったばかりの「立命館」のぼり一〇本を立てて雰囲気盛り上げた。待つこと暫し。二番目にアンカー松島選手が現れた時、私は思わず校旗を握り締め、「頑張れ、頑張れ」と叫んだのだ。

ゴール後、内宮宇治橋のもとに、選手一同と大学側関係者、我々応援の校友が集結した。三重県校友会より選手諸君に、激励と慰労の言葉とビールを贈呈。陸上競技部からの御礼の挨拶の後、校歌を応援歌を大声で斉唱。来年の再会を約し家路についたことであつた。



（三重県校友会会長 市川武彦 記）

全日本大学駅伝大会観戦

三重県校友会



酒蔵DE民謡コンサート



長野県校友会南信支部総会

- 11/15 丹後地区校友会総会（25名・国民年金センター「丹後おおみや」）
- 11/21 ニューヨーク校友会秋の集い（14名・レストラン「浪花」）
- 11/29 春風会（32名・衣笠キャンパス）

■ 職域校友会

- 11/27 朋命会（24名・ホテルモントレ神戸）

■ 学部・学科校友会

- 9/14,15 数学物理学科昭和38年度卒業同級会（24名・ホテル若水）
- 9/26 立電会総会（45名・大阪弥生会館）
- 10/17 建設会愛知県支部総会（100名・名鉄グランドホテル）
- 10/25 国際法ゼミ山手・徳川会（43名・末川会館）
- 11/1 建設会京都支部総会（200名・京都タワーホテル）
- 11/29 国際関係学部校友会総会（70名・南青山 Brown,g）
- 11/29 法学部大久保会（100名・衣笠キャンパス）
- 11/29 法学部村上弘教授を囲む会（30名・衣笠キャンパス）
- 12/6 機友会総会（150名・BKCローム記念館）



建設会京都支部総会

■ サークルOB・OG会

- 9/14 軽音楽部OB会演奏会・総会（100名・以学館2号）
- 9/20 会計学研究会OB会（40名・からすま京都ホテル）
- 9/23 経営研究会同窓会（23名・新都ホテル）
- 10/4 証券研究会OB会（40名・聖護院御殿荘）
- 10/4,5 '68卒ワンダーフォーゲルOB会（19名・大山ホテル）
- 10/18 卓球部祝勝会（60名・京都国際ホテル）
- 11/15 理工ESS—OB会50周年記念大会（61名・末川会館）
- 11/15 法律相談部OB会総会（15名・末川会館）
- 11/22 男子ソフトボール部OB会総会（20名・京都タワーホテル）
- 11/23 第21回全日本大学女子駅伝歓迎・慰労会（100名・アサヒスーパードライ梅田）
- 11/29 マスコミ研究会OB会（40名・衣笠キャンパス）
- 12/3 スポーツフェロー総長を囲む会（70名・京都全日空ホテル）
- 12/6 射撃部OB会25連覇祝賀会（45名・ホテルグランヴィア京都）



'68卒ワンダーフォーゲルOB会



理工ESS—OB会50周年記念大会

■ その他OB・OG会

- 11/11 Rits Greater Society(RGS)（40名・東京ドームホテル）

2

各県校友会および海外支部に対し、ホームページを作成する環境とツールを提供する件（本部事務局からの報告）。

なお、具体的な使途や規模は、改めて校友会の機関会議において判断されることとなるが、立命館大学校友会の歴史上かつてない規模の、母校と後輩への支援が実現することとなる。

学園の長期事業を支援するため、校友会が創立者中川小十郎氏の旧邸「白雲荘」を学校法人から買い取り、不動産の形にして維持してきた校友会の資産金五億五千万円（なお学校法人は、この間「白雲荘」にかかわる公租公課や金利相当額を補填してきた）が、今般学校法人が「白雲荘」を買い戻すことを決定したことを受け、固定資産から流動資産へと変換すること。その結果をふまえ、校友会としては、金五億五千万円を経常の校友会財政とは別に母校と後輩のために支出する方針を決定する件。

1

二月八日（土）、立命館大学校友大会に先立ち、ホテルグランヴィア京都五階「竹取の間」で、本年度第二回目の校友会本部幹事会を開催した。中心議題は以下の通り。

二〇〇三年度第二回幹事会
校友会史上かつてない規模の
母校と後輩への援助を決定

立命館ファミリーカード優待店のご紹介 (その1)

平素はクレオテックならびに立命館ファミリーカードをお引立て頂き、誠にありがとうございます。今季発行より、日頃ご協力頂いております優待店のご紹介をさせていただきます。ふるってご利用ください。

協力店名	TEL	FAX	優待内容
シェラトンホテル札幌(北海道)	011-895-8811	011-895-8820	宿泊特別優待料金あり 特別指定日は除く
新さっぽろアークシティホテル(北海道)	011-890-2525	011-890-2520	基本室料の10%割引 (ただし、雪まつり期間をのぞく)
ラディソン都ホテル東京(東京)	03-3447-3111	03-3447-3133	基本室料の10%割引
名鉄グランドホテル(名古屋)	052-582-2211	052-582-2230	宿泊料金の10%割引
名鉄ニューグランドホテル(名古屋)	052-452-5511	052-452-5893	基本室料の10%割引
賢島宝生苑(三重)	0599-43-3111	0599-43-5371	基本宿泊料(1泊2食付)の5%割引
志摩観光ホテル(三重)	0599-43-1211	0599-43-3538	1泊朝食付平日8000円・ 休前9500円(サ込税別)※除外日あり
大津プリンスホテル(滋賀)	077-521-1111	077-521-1110	宿泊料金の10%割引
クサツエストピアホテル(滋賀)	077-566-3333	077-565-7775	基本室料の10%割引
草津第一ホテル(滋賀)	077-562-2411	077-565-3211	宿泊料金の500円引(現金支払のみ)
ウェスティン都ホテル京都(京都)	075-771-7111	075-751-7294	基本室料の10%割引
京都全日空ホテル(京都)	075-231-1155	075-231-5333	基本室料の10%割引(一部除外日あり)
京都タワーホテル(京都)	075-361-3212	075-361-2915	基本室料の10%割引 指定レストラン飲料10%割引
京都パークホテル(京都)	075-525-3111	075-533-1101	基本室料の20%割引
京都ロイヤルホテル(京都)	075-223-1234	075-223-1702	宿泊料金の20%割引
新都ホテル(京都)	075-661-7111	075-662-3235	基本室料の10%割引
リノホテル京都(京都)	075-316-1200	075-316-1201	室料10%割引レストラン『R's』及び ティーラウンジ『ルヴァン』飲料10%割引
沖縄都ホテル(沖縄)	098-887-1111	098-886-5591	基本室料の10%割引

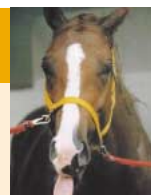
※ 予約時に立命館ファミリーカードをお持ちであることをお知らせ頂き、チェックイン時にご提示ください。
※ 詳しくは、各ホテルにお問い合わせ下さい。

立命館ファミリーVISAカード

ICチップカードへの切替についてのお詫び

いつも立命館ファミリーカードをご利用頂き、誠にありがとうございます。
さて、本誌2002年7月号にて校友の皆様へ「立命館ファミリーカード券面一新」のお知らせを致しました。本来なら昨年10月から順次ICチップへの変更を行わなければならないところ、VISAカードにおいてその手続きが出来ておりませんでした。現在、VISAカードでは切り替え及び新規ご入会の方にはお手紙を添えて2004年1月からの発行をご案内させていただいております。
会員の皆様にはご迷惑をおかけ致しましたこと、深くお詫び申し上げます。
今後とも立命館ファミリーカードをご愛用くださいますよう、心からお願ひ申し上げます。

乗馬クラブ・クレイン京都からのお知らせです！

立命館ファミリーカード会員様に
乗馬体験2回コースをご招待！

乗馬クラブ・クレイン京都 075-972-5972

乗馬という“高級な”というイメージの方が多いと思いますが、2001年4月にOPENした「乗馬クラブ・クレイン京都」では、5歳～80歳くらいの方々が気軽に楽しんでいただいております。活気に溢れています。

この度、お知らせいたします「乗馬体験2回コース」は馬を近くで見るのも初めてという方に人気のコースで、お好きな2日間に分けてレッスンさせていただきます。

【期 間】

1回目の受講を、2004年2月29日(日)までにお受けください。

【料 金】

●「立命館ファミリーカード」会員の方

抽選にて20名様に乗馬体験2回コース 無料ご招待！
(但し、馬具レンタル・保険料、2日分計2,500円のみ必要。)

●ご応募なされない方及び、会員でない方

スクール料2,000円(通常8,000円)と馬具レンタル・保険料、
2日分計2,500円の合計4,600円。

【利用方法】

氏名・年齢・住所・電話番号・馬のイメージをご記入の上、下記の連絡先までがき又はFAXにてご応募下さい。ご予約、ご応募の際に「立命館ファミリーカード」会員であること、「りつめい」215号をご覧になったことをお伝え下さい。

【ご 予 約】

TEL. 075-972-5972 スクール担当まで
定休日/火曜日 電話受付時間18:00まで)

【場所・ご連絡先】

〒614-8294 京都府八幡市欽明台北3-1 乗馬クラブ・クレイン京都
FAX 075-972-4972
[URL] <http://www.uma-crane.com>

* 京都以外の施設に関しては乗馬クラブ・クレイン京都までお問い合わせいただくかホームページをご参照ください。

※ 優待店加盟のお申し込みも随時受付けております。
詳しくは下記までお問い合わせ下さい

優待店 立命館ファミリーカード (株)クレオテック
お申し込み・お問い合わせ先 「立命館ファミリーカード」係

〒603-8353 京都市北区平野上八丁柳町28
TEL. 075(463)9197 FAX. 075(465)5697

各種情報満載の
クレオテックのホームページをご覧ください!
<http://www.creotech.co.jp>

※ 立命館ファミリーカード会員の方は、割引の特典がございます。

おかげさまで10周年、記念品進呈！

(2004年3月末お申込まで)

好評につき、期間を延長させていただきます。

「立命館オリジナルグッズ」を5,000円以上お買い上げの方に、もちろんクレオテックオリジナル「タオルマフラー」を進呈させていただきます。

クレオテックオリジナル 新感覚タオルマフラー

参考上代1,200円
：非売品



赤茶

グリーン

ブルー

イエロー

軽くてさわやか、伸縮性があるので首元にオシャレにまとまります。タオル素材なので吸水性・保湿性に優れ、洗いやすく衛生的！

- カラー：
4色（赤茶、グリーン、ブルー、イエロー）
- サイズ：
約165cm×約22cm
- 品質：
綿75%、ポリエステル25%

(注) お申し込みの際は「タオルマフラー」の色をご指定願います。商品は十分に用意していますが、在庫切れの際は色を変更させていただく場合がありますのでご容赦願います。

「Rits+立命館名入りゴルフボール」新商品

New!



ダンロップHI-BRID Bb DISTANCE

立命館ファミリーカード会員価格

¥3,000

一般価格

¥3,300

* 価格はいずれも税別にて表示させていただきます。

【立命館オリジナルグッズ】通信販売

熨斗包装、筆耕サービス実施中! 各種会合、ゴルフコンペ、ご贈答用などにご利用ください。

品名	会員価格	一般価格	仕様および備考
オリジナルタオルセット (大判バスタオル+スポーツタオル)	2,700	3,000	綿100%、ジャガード織り (Ritsumeikan名入り)、カラー：バス タオル(白)、スポーツタオル(エンジ)
京セラ製セラミックボールペン [細] (立命館名入り)	800	950	カラー2種(ガンメタ、シルバー)、 全長138mm、直径10mmφ
京セラ製セラミックボールペン [太] (立命館名入り)	1,400	1,600	カラー(ガンメタ)、全長141mm、 直径13mmφ
ダンロップDDHツアースペシャル	1,500	1,650	Rits+立命館名入り
ダンロップHI-BRID Bb DISTANCE	3,000	3,300	Rits+立命館名入り
Ritsマーク入りTシャツ M/L	1,500	1,800	綿100%
Ritsマーク入りトレーナー M/L	3,000	3,300	綿100%

品名	会員価格	一般価格	仕様および備考
つづれ織りブックカバー	1,000	1,200	ポリエステル/レーヨン
オルゴール(サンキョウ オルフェウス)	35,000	40,000	マホガニー箱(小物入れ付) 294mm× 170mm×82mm、校歌・応援歌入り
タイクリップ&カフリンクス	15,000	16,000	950銀、ロジウムコーティング
井堂雅夫創作扇子(衣笠・BKC)	2,200	2,500	長さ：約22cm、主材：竹、和紙 いずれか1本
井堂雅夫創作木版画(衣笠・BKC)	2,000	3,000	版画12cm×18cm、額縁23cm×29.5cm、 1枚でのお申込の場合は会員価格1,500円、 一般価格：2,000円になります。
Ritsマーク入り西陣織ネクタイ	2,000	2,500	正絹100%、パールトン加工

* 価格はいずれも税別にて表示させていただきます。

立命館オリジナルグッズ
お申し込み・お問い合わせ先

お申し込み方法 ハガキまたはファックスに、住所、氏名(フリガナ)、年令、電話番号、立命館ファミリーカード会員番号、カード有効期限、商品名、数量、金額、お届け先をご記入のうえお申し込みください。

お支払い方法について 立命館ファミリーカード会員の皆様は、カード払いがご利用いただけます。※お申し込み時に必ず明記してください。一般の皆様は、商品到着後「郵便払込み」にてお支払いください。

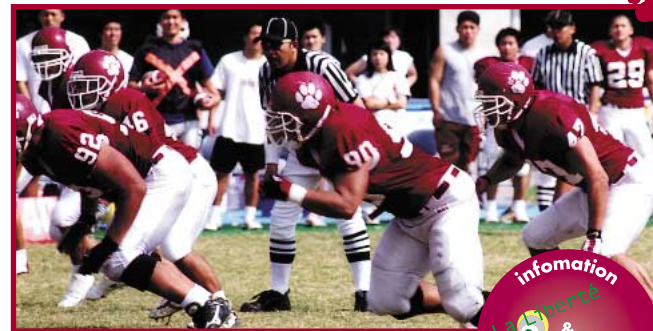
お届けについて 商品は、当社がお申し込みを受け付けてから約2週間でお届けいたします。

送料について ご注文毎に1ヶ所のお届け先につき、送料を申し受けます。

FAXでお申し込みの方へ

FAXの誤送信による商品の未着問い合わせが多発しています。FAX番号が変わっていますので、商品お申し込みの際はFAX番号を再度ご確認ください。送付願います。

祝 アメリカンフットボール部 関西学生リーグ優勝!



この度、立命館大学アメリカンフットボール部「PANTHERS」が7戦全勝で2連覇を達成し、4度目の甲子園ボウル出場を果たしました。

弊社では「立命館オリジナルグッズ」の企画・販売が中心でしたが、今後は「PANTHERSグッズ」も積極的に展開させていただきたいと考えております。

校友の皆様からのアイデア・ご提案などをいただければ幸いです。校友の皆様からのアイデア・ご提案などをいただければ幸いです。

「立命館オリジナルグッズ」「スポーツ用品・スポーツドリンク」は弊社ホームページで詳しくご案内させていただきます。是非ご覧ください。▶ <http://www.creotech.co.jp>



通信販売
お申し込み・お問い合わせ先

〒603-8353 京都市北区平野上八丁柳町28 (株)クレオテック「ショップリベルテ」

TEL. 075 (463) 9740
FAX. 075 (465) 5697

世界に飛躍する立命館へ

国際化の現段階

はじめに

一九八五年の国際センター開設以降、本学は、多様かつ画期的な国際化のプログラムを開発し実施しています。

しかし、昨今、高等教育を取りまく環境や、大学が国際社会から求められる役割は大きく変容してきています。

この特集では、高等教育や本学を取りまく状況を概観した上で、既存プログラムの内容と実績、そして本学の新しい国際化戦略についてご紹介します。

ARISE2000の展開

—二〇一〇年の高等教育環境

本学では、二〇一〇年を視野に入れた「国際社会に寄与する人材の育成プログラム」として、ARISE2000 (Advancing Research Through International Student and Staff Exchange) を掲げています。これは、二一世紀の様々な課題に国際社会とともに挑戦する枠組みを形成し、知恵の蓄積と活用による高度人材育成を目指し、国際的な産官学民連携機能を確立し、学園の教育・研究基盤を充実させるものです。

二〇一〇年には、教育界でもグローバルイノベーションと規制緩和が進展していることでしょう。情報技術の発展による遠隔教育の普及は、高等教育現場における時間・空間・年齢

性別、言語などあらゆる境界をなくします。そして日本の大学は、海外の教育機関との競争環境に突入します。一方で、国際的な協力やリエゾンネットワークによって、海外の大学、研究機関、民間企業と共同で課題に取り組むことも普通になると考えられます。

これを見越した上で、本学ではARISE2000を作成し、二〇〇五年までに具体的に着手すべきプロジェクトを明確化しました。国際教育のプログラムやキャンパスのハードおよびソフトのインフラを充実させることにより、海外留学の派遣と受け入れを飛躍的に増大させ、多文化共生と真のグローバル化を目指しています。一部はすでに実施しています。

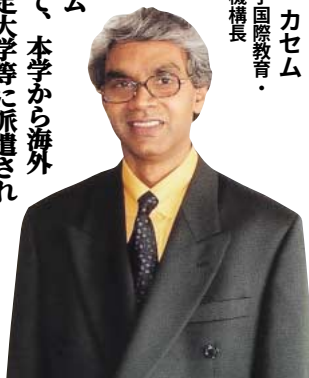
レベルに応じた国際教育プログラム

次に、代表的な国際化プログラムについて簡単にその内容をご説明します。すでに本学では海外の大学・機関との学術・文化交流を推進するための大学間協定を積極的に締結し、二〇〇三年七月現在で世界四二カ国・地域、一四三大学・機関と協定などを結んでいます。多様な



立命館大学駐上海連絡処が入居しているビルの入口

モンテ・カセム
立命館大学国際教育・研究推進機構長



留学プログラム

を通して、本学から海外への協定大学等に派遣される学生は、年間約六〇〇〜七〇〇名の規模になり、海外留学者は年々増え続けています。また、現在世界各国・地域から正規留学生約五五〇名、短期留学生約六〇名を受け入れています。

本学の柱となっている国際教育プログラムは以下の六つです。

① 異文化理解セミナー（派遣）

これは異文化理解を中心として本学でこなう講義と派遣先大学でおこなわれる外国語学習および各言語による講義を結合した短期の国際教育プログラムです。六言語（海外二三大学）から選択でき、約五週間程度海外で学びます。毎年三三〇名の学生が参加しています。

② 国際インスティテュート海外スタディ（派遣）

アカデミック・ラーニング四カ国五週間七〇名、フィールドワーク二カ国三〜四週間三〇名、インターンシップ三カ国八地域一〜四週間一〇名の枠で、研修先大学の特色ある講義を受講し、現地学生との交流や国連本部等での調査・研修を実施しています。

③ 立命館・UBCジョイント・プログラム（派遣）

立命館大学とカナダのブリティッシュ・コロンビア大学（UBC）が共同で開発したプログラムで、毎年一〇〇名の学生を約八ヶ月間派遣しています。本プログラム期間終了後、引き続きUBCにおいて正規開講科目を中心に履修する「UBC二年目派遣プログラム」も始まりました。

問い合わせ先

立命館大学国際課 電話 075-465-8230

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/koho/annai/kyoiku/stage/>

④ 交換留学（派遣）

本学と学生交換協定を締結している大学（一五カ国・地域三三大学）へ一年間留学する制度です。留学先では各自の専門分野に応じた正規科目を受講します。なお、授業料は立命館大学への納付のみとなり、留学先の大学への授業料は必要ありません。交換留学枠の大学を今後さらに増やしていきます。



ブリティッシュ・コロンビア大学で学ぶ学生たち。
立命館—UBCハウス（学生寮）にて。

⑤ 立命館大学・アメリカン大学
共同学位プログラム（派遣）

日本とアメリカの両大学の学位を最短四年間で取得することのできる画期的なプログラムです。入学試験で理工学部・情報理工学部をのぞく全学部から約三〇名を派遣生として選抜します。参加学生は一回生の前期を立命館大学、一回生の後期から三回生の前期までの二年間をアメリカン大学で、また三回生後期から卒業までの一年半を再び立命館大学で学びます。また、大学院レベルの共同学位プログラムもあります。

⑥ Study in Kyoto Program（※）

本学と学生交換協定を締結している大学出身の学生を中心に、毎年約六〇名の短期留学生を受け入れるプログラムです。

また、これ以外にも研究科を横断して、国際的に著名な教員を招聘す

る「国際先端社会科学プログラム（英語による授業）」も実施しています。理工学部においては、マレーシア・ツイニング・プログラムに参画し、本学の教員が現地で予備教育を実施した後、マレーシアの留学生を本学理工学部二年次への編入学生として受け入れています。

国際教育・研究推進機構では、現在の年間六〇〇〜七〇〇名の海外派遣学生数を二〇〇七年度までに一五〇〇名程度に増やし、従来よりも多様かつ系統的な国際教育プログラムを提供する予定です。

国際協力・貢献への道筋
—「人づくりから国づくりへ」

これからは、国際協力・国際開発の現場においても、大学のもつ資源（人材・知識・教育・研究開発）の積極的な活用が期待されます。本学の国際教育・研究推進機構では、政府開発援助（ODA）や世界銀行、アジア開発銀行など国際協力・開発案件の対外的窓口となるべく現在体制の整備を行っています。全学的なサポート体制の下で、教員や学生の現地調査・評価派遣、途上国の研修員受け入れ、教育研究コンテンツの開発などを実施し、国際社会における信頼関係を深めて、国際的な研究および高度人材育成の能力を高めます。すでに、本学大学院では、国際協力機構（JICA）の留学生支援無償事業（JDS）に積極的に参加し、約四〇名の留学生を大学院で受け入れて、高度な教育・研究を展開しています。理工学研究科、経済学研究科、国際関係研究科では英語による高度人材育成プログラムを開設し、

国際社会で活躍できる人材育成を推進しています。二〇〇四年度には新たに政策科学研究科がJDSによる留学生の受け入れを始めます。

また、産業社会学部の教員が中心となり、ベトナム教育省と連携した国際教育協力プロジェクトを推進。ハノイ師範大学、ホーチミン師範大学の両大学の大学院において、障害児教育担当の専門教員を養成するコースを開設しました。この事業は、JICAの「草の根技術協力プロジェクト」として採択されています。本学学生も現地で調査実習をしています。

国際協力銀行（JBIC）との関連については、他大学と共同でスリランカの復興と開発に関する現地調査を実施し、JBICのスリランカ支援の指針となるレポートの作成に協力するとともに、同国の現首相を本学に招いて記念講演を行うなど、国際協力・貢献を実践しています。

おわりに

現代の国際社会では、国境を越えた新しい基準や倫理形成が必要となつていきます。この状況下で立命館は、広範な海外とのネットワークを基盤に、国際社会と手を結びながら知識の最前線を切り開いていかなければなりません。世界に通用する立命館となるためには、卓越した頭脳を育てるプロセスを持続させていくことです。頭脳の集積が人類の知識や知恵の形成を促し、今日の地球的課題に貢献するのです。それが立命館の国際化のミッションであり、私達はさらに一層改革していききたいと思ひます。

問い合わせ先

立命館大学インターンシップオフィス
電話 075-465-7856
http://www.ritsumeik.ac.jp/kic/651/Main-int.htm



読売新聞社バンコク支局でインターンシップをした学生と支局の皆さん

立命館大学におきましては、インターンシップを産学連携による人材育成プログラムと位置づけ、学生が入学時より自らのキャリアについて考え、実践的に大学で学問研究を行っているための重要なステップとしてインターンシップを重視

インターンシップの取り組み

立命館大学においても二〇〇二年度は全学で九三一名の学生がインターンシップに参加しました。最近では、国内のみならず海外でインターンシップを実施する学生も増えてきています。ここでは、立命館大学の取り組み、国際インターンシップ（※）への展開などについて紹介します。

※国際インターンシップ：学生が海外で実施するインターンシップ

国際インターンシップの展開

立命館大学キャリアセンター
インターンシップオフィス

新聞、雑誌、テレビ、電車の広告などあらゆる媒体で『インターンシップ』という言葉を目にされると思っています。インターンシップとは、一般的に「学生が企業や自治体などの現場で実際の業務を体験する教育プログラム」と定義されます。

立命館大学においても二〇〇二年度は全学で九三一名の学生がインターンシップに参加しました。最近では、国内のみならず海外でインターンシップを実施する学生も増えてきています。ここでは、立命館大学の取り組み、国際インターンシップ（※）への展開などについて紹介します。

※国際インターンシップ：学生が海外で実施するインターンシップ

国際インターンシップの展開

インターンシップを経験する学生が増えている中、海外に飛び出す学生も増えてきました。二〇〇二年度は九五名の学生が海外でインターンシップを実施しています。行き先は日本大使館（米国）、JICA米国事務所・英国事務所、JETROサンフランシスコ、神戸市シアトル事務所、読売新聞社バンコク支局、朝日新聞社ワシントン支局・シンガポール支局、国際連合ボランティア計画（ドイッボン）など様々です。また海外で留学中の学生が留学期間中にインターンシップをしているケースも多数あります。本学の提携大学の

参加人数の推移（国内・国際の合計）

年度	各学部	大学院	インターンシップ 471人	ボランティア 7人	合計
1992	—	11	—	—	11
1993	—	9	—	—	9
1994	—	6	—	—	6
1995	—	7	—	—	7
1996	—	18	—	—	18
1997	29	19	—	—	48
1998	98	35	—	55	188
1999	188	42	100	89	419
2000	174	35	227	67	503
2001	258	68	386	118	830
2002	395	95	354	87	931

一つであるアメリカン大学（ワシントンD.C.）では留学している学生ほとんどが、自らの力で受入先と交渉し、現地の企業や団体でインターンシップを経験しております。海外でのインターンシップは学生にとって世界を体験する非常に良い機会となっています。

また本年度から『立命館・UBCインターンシップエクステンションプログラム』がスタートしました。このプログラムはUBCの学生が日本の企業で約六ヶ月間、インターンシップ実習を行うものです。本年度は三名の学生が来日し実習を行いました。一方、本学の学生も来年一月よりUBCを通じて現地の企業でインターンシップを行います。このように提携大学を通じての国際インターンシップも始まりつつあります。

インターンシップは、新しい学びの形態として認知されており、このような学生の積極的な動きを大学として可能な限り支援して行く予定です。校友のみならず、職場にもインターンシップ生として本学の学生がお世話になることもあると思います。その際はさまざまな面でのご支援、協力をお願い申し上げます。

詳しくは立命館大学HPで「Pick Up!」をご覧ください。

<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/koho/headline/pickup/index-j.htm>

2003年9月

立命館アジア太平洋大学卒業式・入学式を挙

※

9月19日、APUの早期卒業プログラムを履修していた学生の卒業式が行われた。今回卒業したのは、国内学生6名、国際学生1名。

また、22日には入学式が挙行され、学部には国際学生208名と国内学生20名、大学院には同じく66名と4名が入学した。

2003年度前期

大学院修士学位授与式・大学卒業式を挙

※

式は9月24日、びわこ・くさつキャンパス(BKC) プリズムホールにて行われた。大学院生36名、学部生350名が巣立った。

「来て! 見て! 知って! 立命館 —2003財政公開・大学公開」開催

※

9月26日から10月10日まで、衣笠およびBKCの両キャンパスで、パネル展示がなされた。「ガラス張りの財政」「清潔な学運運営」をモットーに1949年から始まったこの取り組みは、年々拡充し、学費の使われ方や奨学金制度、学生へのサポート体制などについて、今年度は11分野に分けて紹介された。

第1回天野和夫賞授与式を挙

※



10月15日、衣笠キャンパス中川会館において行われた。

天野和夫賞は、元立命館総長・学長天野和夫先生のご令室

天野芳子様からの寄附金にもとづき、本学大学院生等を表彰しその研究を奨励することを目的として、本年2月に制定された。長田豊臣学長から賞状の授与および副賞の贈呈があり、竹濱修法学研究所長(選考委員長)が選考理由を報告、受賞者

3氏からそれぞれ挨拶があり、最後に天野芳子様から受賞者に対して激励のお言葉があった。

公開講座・新世紀平和企画「21世紀における共生の可能性を求めて—大学の挑戦」開催

※

この企画は、京大事件70年・学徒出陣60年・わたつみ像50年を記念したもので、10月24日、衣笠キャンパスにおいて開催された。

「京大事件の今日的意味」をテーマに、立命館の歩んできた歴史のエッセンスに学び、21世紀における学問の自由や大学の自治について考える機会として開催したもの。園部逸夫立命館大学客員教授による挨拶に続き、京大事件当時の京大法学部助教授であった佐伯千仞名誉教授からのビデオメッセージ「京大事件70年に寄せて」が上映された。続いて、上田寛立命館大学法学部長が「立命館大学法学部と京大事件—今日的意味に触れて」、松尾尊允京都大学名誉教授が「現代史における京大事件の意味」と題してそれぞれ講演を行った。



ノーベル賞受賞者を囲む「フォーラム『21世紀の創造』科学フォーラムin滋賀」開催

※

このフォーラムは、11月4日、BKCにおいて行われた。読売新聞社、NHK、立命館大学の共催。「科学が読み解く生命と情報」をテーマに、第一部では、田中耕一氏(2002年ノーベル化学賞: (株)島津製作所フェロー)、シドニー・ブレナー氏(2002年ノーベル医学生理学賞: 米ソーック研究所)、利根川進氏(1987年ノーベル医学生理学賞: 米マサチューセッツ工科大学)の3氏の基調講演が行われた。第二部では、モンテ・カセム国際教育・研究推進機構



長のコーディネートによりパネルディスカッションが行われた。川村貞夫副総長のコメントにつづいて、受賞者と副総長の4名のパネリストが、創造力の育て方と共同研究の重要性について、それぞれの立場から意見を展開した。

立命館大学—滋賀県草津市との連携協力に関する協定書調印

※

11月6日(木)、草津市役所において、協定の調印式が行われた。立命館大学は草津市と産業振興、教育・文化・スポーツ、人材育成、まちづくり等の分野で包括的に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することとしている。



「学生会館Sキュービック(通称)・北側テラス増築オープニングセレモニー」開催

※

11月10日、大学関係者、工事関係者、学生の出席のもと、標記セレモニーが開催された。学生会館の北側に増設された課外活動音楽練習施設である「Sキュービック」は、3階建て、延べ約250m²。完全防音5部屋を備えている。名称は「Symphonic Space for Sound: 音のために調和された空間」に由来している。また「北側テラス」は、80席を有するオープンラウンジスペースで、Sキュービックに隣接している。今春改築されたCafeゆんげ、オープンラウンジスペースと合わせると、約300席増加したことになり、音楽系サークルをはじめとする多くの学生の利用が期待されている。



学生の スポーツ&イベント

S P O R T S & E V E N T

活躍した学生たち

◎ 弓道部

関西学生弓道リーグ戦

男子 1部 全勝優勝（22年ぶり5回目）

女子 1部 全勝優勝（5年ぶり5回目）

初の男女同時リーグ戦優勝。



男子ソフトボール部

秋季関西学生ソフトボールリーグ戦

1部 全勝優勝（8季ぶり）

最終戦を待たずしての優勝。



（11月15日～22日、木曽川滑空場）

団体 優勝

個人 優勝 奥村仁（政策4、東海大浦安高出身）

大会史上初の個人2連覇。



航空部

東海・関西学生グライダー競技会



重量学部

彩の国まごころ国体記念杯女子競技会

TOPICS

復活! 駅伝の立命館

女子陸上競技部全国優勝

男子陸上競技部38年ぶり関西優勝

11月23日、大阪・長居陸上競技場に、第21回全国大学女子駅伝対校選手権大会の号砲が鳴り響きました。立命館は、インカレ1万mの覇者池田恵美（経営2、立命館宇治高出身）を軸にしたバランスよいチームで悲願の初優勝を果たしました。

第1区の丸毛静香（経済2、桂高出身）は、一時はトップに立ちましたが、8秒差の2位でたすきをつなぎました。第2区のエース池田は肘を下げた独特のピッチ走法で一気にトップに。第3区澤田佳恵（経営3、比叡山高出身）、第4区後藤麻友（経済1、熊本信愛女学院高出身）が2位との差を引き離し、第5区徳田紀子（経営3、桂高出身）が区間賞の走りを見せ独走態勢に。最終区は、ルーキーの小中由紀子（経営1、比叡山高出身）が、堂々とした走りで大観衆が待ち受ける長居へ。そしてゴールテープを切りました。



九州地区から第1代表として出場した立命館アジア太平洋大学は、第1区で12位と健闘をみせ

ましたが、昨年同様17位でゴールしました。

News立命通信社 前田大介（産社2）

11月16日、体育会男子陸上競技部は、第65回関西学生対校駅伝競走大会において、京都産業大学（以下、京産大）の27連覇を阻止して、38年ぶり16度目の優勝を果たしました。

大会は、京都府久美浜町浜公園ー宮津市島崎公園をコースとする8区間82.5kmで行われました。スタート直後から京産大とのマッチレースとなりましたが、1区南口真吾（経営1、清風高出身）は積極的な走りで3秒先着してたすきをつなぎました。その後も京産大との激しい先頭争いが続き、5区で先行を許し6区では40秒差にまで広げられました。しかし7区でエース稲井義幸（経営2、立命館宇治高出身）が区間記録を1分23秒も更新する快走を見せ、逆に30秒のリードを奪うと、アンカー松島栄治（経営3、立命館宇治高出身）も前半から必死に飛ばして、4時間8分16秒で栄光のゴールテープを切りました。今回の快挙達成にあたり、多くの方々からご支援ご声援をいただきました。心より感謝するとともに引き続きご協力賜りますようお願いいたします。



男子陸上競技部 駅伝主務 山村栄治郎（経営4）

(11月22日～24日、さいたま市記念総合体育館)
75kg級 優勝 加藤博子(国関3、鳥羽高出身)
高校生から社会人まで、全国レベルの選手が出場。



天文研究会

「地域観望会・星のひろば」開催

(9月13日、衣笠キャンパス学生会館)

地域の子供たち
を対象に開催。
宇宙に関するク
イズ大会やスラ
イドショー、部
員が作成したブ



ラネタリウム、屋上に上がっての天体観測によ
り、星や宇宙の魅力を伝えた。

全国学生フランス語弁論大会

優勝 石田智子(産社3、春日丘高出身)

全国学生スペイン語弁論大会

優勝 長林杏奈(国関2、高知西高出身)

11月8・9日、京都外国語大学にて開催された。
外国語を専門に学ぶ学生が入賞することが多い
このようなコンテストで、立命館大学からの優
勝は快挙。



応援よろしくお願いします

●アメリカンフットボール ライスボウル

1月3日(土) 14:00 東京ドーム
(12月21日甲子園ボウル勝利の場合)

●第1回全日本大学女子選抜駅伝

2月15日(日) 埼玉県庁前→上尾運動公園陸上
競技場

●第80回東京箱根間往復大学駅伝競走

1月2日(金)・3日(土)
日本学連選抜チームに、下記の3選手がエント
リーされました。
田子康宏(経営2、由良育英高出身)
稲井義幸(経営2、立命館宇治高出身)
森田知行(経営1、智辯学園高出身)

フレー!
フレー!



TOPICS

アメリカンフットボール部パンサーズ 逆転勝利で関西連覇

11月30日、関西学生アメリカンフットボールのリーグ最終戦が、長居陸上
競技場で行われた。立命館大学は、関西学院大学を相手に逆転勝利をおさめ、
7戦全勝優勝。学生日本一を決める「甲子園ボウル」への出場権を手にした。
この日のパンサーズはいつものようなエンジンがかからなかった。無敵の破壊
力を誇るオフェンスが機能せず、関西学院に一時は14点差をつけられた。し
かし、後半に入ると冷静さを取り戻し、第3クォーター4分10秒にRB岸野公
彦(経営3、大阪産業大学附属高出身)が40ヤードのFGを決め、3点を返し
た。その後、第4クォーター1分33秒にはQB高田鉄男(経営4、大阪産業大学
附属高出身)からWR長谷川昌泳(経営3、大阪産業大学附属高出身)への4ヤ
ードのTDパスに続き、WR冷水哲(経済4、宝塚東高出身)への2点コンバ
ーションも成功し土壇場で同点。あくまで勝ちにこだわり、残り1秒でRB岸野が
24ヤードのサヨナラFGを決め、24対21
で勝利した。古橋由一郎ヘッドコーチは
「一年間の努力も、関西学院に勝たなくては
意味がない。選手たちにも、そのことを
言い続けてきました」と、永遠のライバル
関西学院との一戦の重たさを語った。

学生広報スタッフ 高梨市太郎(法3)



TOPICS

剣道部が 韓国・慶熙大学を迎えて交流

11月24日から28日の日程で、立命館大学
と「文化・スポーツ交流協定」を締結している
慶熙大学から剣道部を招きました。剣道部が国
際交流を行うのは、1994年2月にカナダのバン
クーバーでプリティッシュ・コロンビア大学
(UBC)と交流を行って以来2度目です。

近年は剣道の世界普及も進み、韓国は日本に
次ぐアジアの強豪と評価されています。この交流では、慶熙大学剣道部は本場
日本の気合と技術を学び、立命館大学剣道部は、慶熙大学生と剣を交え気持
ちを伝え合う中で、剣道の本質である「礼儀」の意味をあらためて学びました。

2日目には合同練習、3日目には対抗試合を行いました。試合前に、立命館
大学剣道部の宮崎正陸師範(63経済)から、「韓国で剣道に励む学生を迎えて
大変嬉しく思っている。立命館大学の学生とさまざまな面で交流して日本を楽
しんでほしい」と歓迎の挨拶がありました。

結果は、男子(5人戦)が第1試合5-0、第2試合4-0。女子(7人戦)が
第1試合6-0、第2試合7-0となり、立命館の勝利でした。

日程を終えた一行は、今後のさらなる交流を約束して帰国しました。

体育会剣道部女子監督 吉岡 路(96産社)



編集室から

*今回、学生当時の昭和50年代を振り返ってみた。私は、体育会OBで京都在住ということもあり、卒業後も母校のキャンパスに出入りする機会が多かった。すぐに思い起こせると思っていた。しかし、20年という時間の力は強烈で、初めは、なかなか具体的な感覚が出て来なかった。同期の友人に話を聞いても同じだった。出てくるのは、クラブの思い出ばかり、しかし、時代背景が殆ど見えない。数日経って漸く、記憶の一部が戻ってきたものの、結局、自分の中に異なった時間の流れがあるということを感じさせられた。(G)

*「本当は作家になりたかった」。若き日の“自由”への憧れは、社会部の記者を経て、大学教員に転身され、福祉の世界で研究・実践に活躍されている今も、川村さんの生きるエネルギーの源泉となっている。「ついでに…」という合理的精神は、研究活動と趣味の登山とを両立させるに止まらず、福祉行政や地域福祉での実践につながっていく。お話を伺うにつれ、氏のフットワークの良さとコーディネートのおかげ、人が自然と集まってくる人柄に感心することしきり。元気をいただいたインタビューでした。さあ、僕も山登りに挑戦してみようか…。(あ)

*私が生まれた1953年に、広小路学園の近くで「荒神橋事件」があった。戦後立命館の平和と民主主義の理念を象徴する一大事件だ。校友会の折に、その当事者であったという大先輩にお目にかかった。かつて青春の血潮を煮えたぎらせた伝説の人が、私と酒を酌み交わしている。髪の毛はかなり少ないが、お顔の色艶よく、まだまだ若い者には負けられんと言ったように満面の笑みを浮かべて話をしてくれる。私は73年に入学、広小路から笠笠へ一拠点化する論議に関わった。怒濤をくぐった諸先輩方と同じ土俵で思い出話をするには私は小粒すぎるが、立命館の伝統にまがりなりにも縁のある学生であって良かったとつくづく思う。さて、迎える新年。「五十にして天命を知る」境地には未だ程遠いが、真正正路の写真家に成らん事を決意としたい。大先輩方の迫力に負けぬよう。(オ)

りつめい No.215／年4回発行

発行所／立命館大学校友会

編集人／尾崎 敬則

発行人／河原 四郎

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

Tel. 075(465)8120・8124

Fax. 075(465)8125

URL: <http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/al/>

E-mail: alumni@st.ritsumeai.ac.jp

I N F O R M A T I O N

校友会・グループ インフォメーション

校友会・グループ	日時	会場	問い合わせ先
姫路立命会	2/ 7 (土) 15:30	まねき食品	尾上誠一 0792(88)3811
富嶽会	3/14 (日) 15:00	ホテルグランド富士	大石育三 0545(63)8984

校友消息 (判明分)

叙勲 2003年春分

□瑞宝中綬章

久米喜三郎氏 ('58法)

元大阪高裁判事

□旭日小綬章

羽田瑞穂氏 ('53理工)

京滋卸酒販組合理事長

□瑞宝小綬章

樋口節夫氏 ('49文)

大阪国際大学名誉教授

内田正道氏 ('52経済)

元舞鶴地方振興局長

大野重喜氏 ('55法)

元八日市簡易裁判所判事

中本克美氏 ('55経済)

元奈良県教育委員会教育長

橋本博元氏 ('55理工)

元航空自衛隊第三術科学校長

井上昌知氏 ('56法)

元環境庁自然保護局施設整備課長

河原 正次氏 ('56経済)

元近畿運輸局部長

小村谷幸男氏 ('56法)

元大阪教育大学事務局長

角田徳城氏 ('58法)

元滋賀県東工労働部長

増田匡章氏 ('58理工)

元公立高等学校長

□旭日双光章

岸本雅己氏 ('51経済)

元滋賀県旅館環境衛生組合理事長

□瑞宝双光章

塩山 勇氏 ('50専法経)

元公立養護学校長

丹田長史氏 ('50文)

元公立小学校長

山本俊夫氏 ('50経済)

元公立中学校長

岡本達治氏 ('51経済)

元公立中学校長

塩見幸男氏 ('57文)

元公立小学校長

山田俊之氏 ('57理工)

元宮内府京都事務所課長

臼井輝夫氏 ('59院法)

保護司

高坂唯子氏 ('64法)

元京都大学医学部附属病院技術員

□瑞宝単光章

松浦修次氏 ('43専法政)

絹織物製造業

危険業務従事者叙勲 2003年秋分

□瑞宝双光章

富永満行氏 ('69経済)

防衛功労

□瑞宝単光章

小田利文氏 ('51専法経)

警察功労

富多利次氏 ('51専法経)

警察功労

褒章 2003年秋分

□藍綬褒章

小川 勉氏 ('57法)

元日本弗素樹脂工業会副会長

□黄綬褒章

石原政之氏 ('53経済)

石原泰西堂会長

就任

□衆議院議員

萩山教蔵氏 ('57法)

奥村展三氏 ('63文入学)

山名靖英氏 ('66経営)

穀田恵二氏 ('69文)

古本伸一郎氏 ('87法)

山花郁夫氏 ('89法)

泉 健太氏 ('98法)

2003年度各種国家試験合格者数 (判明分・在学生を含む)

◎司法試験	9名
◎公認会計士試験	18名
◎国家公務員Ⅰ種試験	33名
◎外務省専門職員試験	1名
◎家庭裁判所調査官補Ⅰ種試験	2名
◎裁判所事務官Ⅰ種試験	2名
◎不動産鑑定士試験	10名
◎弁理士試験	12名

BOOKS

校友会へご惠贈下さいました本の中から紹介させていただきます。

◆逸見英夫氏 ('56法) 著
『明治・大正・昭和
仙 台 じ け ん 帳』
河北新報社 ¥1400円
『仙台はじめて物語』
創 童 舎 ¥1600円

◆川村匡由氏 ('69文) 著
『短期集中講座ケア
マネージャー試験対策問
題集2003年版』
じ ほう ¥2800円

◆安斎育郎教授・鈴木
元氏 ('69経済) 他著
『ホーチミン市の戦争証
跡博物館ガイドブック』
かもがわ出版 ¥952円

◆富澤公子氏 ('72法) 著・編
『遊び心とおもしろ
心の社会学入門』
かもがわ出版 ¥1200円
『いつまでもおいしく
夢レシピー向老期への
料理メッセージ』
かもがわ出版 ¥1600円

価格は本体価格です。



Information

お 知 ら せ

●あなたの最新の校友情報をお知らせ下さい

お名前・ご住所・電話番号・勤務先等に変更が生じましたら、校友会事務局までご連絡下さい。常に最新の情報をお知らせ下さいますようご協力をお願いいたします。

【住所等変更通知専用フリーダイヤル】

Tel. 0120-252094 Fax. 0120-252095

なお、郵便のご利用や、校友会ホームページの「登録内容変更入力フォーム」からデータをご送信いただく形でも変更連絡をお受けしています。

●各種証明書発行依頼先について

卒業証明書・成績証明書などの発行依頼は、各学部事務室までお願いします。

*法・文・産業社会・国際関係・政策科学の各学部

衣笠キャンパス Tel. 075-465-1111 (代)

*経済・経営・理工の各学部

びわこ・くさつキャンパス Tel. 077-566-1111 (代)

●「自由席」原稿募集

本誌「自由席」コーナー (今号は休載) へ原稿をお寄せください。日常雑感・在学中の思い出・校友同士の交流にかかわる話題、近況報告など、テーマは自由です。原則500字程度。誌面の都合により、一部割愛等させていただきます場合がございます。

お名前・卒年・学部・連絡先を明記の上、校友会事務局「りつめい」編集係へお送り下さい。ペンネームでの掲載も可能です。